



## たかおかストリート構想

— 高岡らしい風情や情緒を楽しみながら散策できるまち —

平成24年3月

高岡市

## 目 次

|   |            |    |
|---|------------|----|
| 1 | 目 的        | 1  |
| 2 | 対象エリア      | 1  |
| 3 | ゾーニング      | 1  |
| 4 | ルートの設定及び特徴 | 2  |
| 5 | 計画への取り組み方針 | 8  |
| 6 | ストリート整備事業  | 12 |

## 1 目的

高岡市では、北陸新幹線の開業を目前に控え、交流・観光を産業の柱の一つに育てあげていくことを意識しながら「歩いて楽しいまちづくり」を推進するため、「歴史都市・高岡」が誇る歴史的風致を十分に堪能していただける歩行系回遊ルートの整備を図ることとしている。

「たかおかストリート構想」は、400年の歴史に培われた歴史・文化、ものづくりの伝統が醸し出す高岡独特の風情やたたずまいを、見て、触れて、感じながら歩くことができるルートを定めるとともに、歩くこと自体を楽しんで散策できるように、ハード・ソフト両面から整備や魅力づくりを進めるための方策を示すものである。

### ◇構想のコンセプト

**「高岡らしい風情や情緒を楽しみながら散策できるまち」**

## 2 対象エリア

「高岡市歴史まちづくり計画（歴史的風致維持向上計画）」では、高岡市街地における維持向上すべき歴史的風致を、山町周辺の「商人のまちと祭礼行事に見る歴史的風致」、瑞龍寺や前田墓所周辺の「利長・利常への報恩感謝と前田家の遺産に見る歴史的風致」、金屋町周辺の「鋳物のまち金屋に見る歴史的風致」とし、これらを含む区域を重点区域に設定している。

たかおかストリート構想の対象エリアは、これら3つの歴史的風致の重点区域及び中心商業地を含む、新幹線新駅周辺から金屋町にかけての範囲とする。

## 3 ゾーニング

対象エリア全てを歩いて巡るにはかなりの時間が必要となることから、観光客が一定の時間内で回遊できるルートも設定するため、地域の特性から3つのゾーンに分けた。

### ① 新幹線新駅・瑞龍寺ゾーン（国宝ゾーン）

- ・新幹線新駅周辺と現高岡駅周辺の市街地を一体的な都心エリアと位置づけ、都市機能を相互に補完しながら整備を図る地域である。ゾーンの中央には国宝瑞龍寺や国史跡前田墓所など、高岡を代表的する歴史的建造物がある。
- ・平成23年の南北自由通路（万葉ロード）開通により南北の一体化が進み、駅北の中心商業地区と駅南地区との通行の利便性が向上したところである。今後、新ステーションビルの建設や万葉線の延伸により、さらにJR高岡駅の機能充実が図られる。



瑞龍寺



前田墓所

## ② 中心商業地ゾーン（たかまちゾーン）

- ・高岡の中心的な商店街や、ウイング・ウイング、御旅屋セリオなどの市民の交流拠点、高岡大仏や古城公園などの観光拠点があり、また、高岡七夕祭りや日本海高岡鍋祭りなど、高岡を代表するイベントが行われている。
- ・商店街の魅力づくりや買い物客のまちなか回帰、賑わいづくりが課題となっている。



末広町通りの七夕祭り



高岡大仏

## ③ 山町・金屋町ゾーン

- ・国指定重要有形無形民族文化財高岡御車山祭りの巡行が行われる土蔵造りの町並み・山町筋重要伝統的建造物群保存地区と、現在、伝統的建造物群保存地区の指定を目指して取組みを進めている、高岡鑄物発祥の地金屋町があり、地域の歴史と伝統に基づく固有の祭りや年中行事が行われている。
- ・山町筋や金屋町通りの町並みのほかにも、城下町の町割りやまちの成り立ちに由来する町名が残る地区があり、登録有形文化財に指定されている歴史的建造物なども残されている。



山町筋



金屋町通り

# 4 ルートの設定及び特徴

## (1) ルート設定の方針

ルートは次の2つを基本として、回遊性を高めるため各ゾーンで複数のルートを設定する。

- 主要な歴史文化資産や観光・交流拠点をつなぐとともに、歴史を物語るスポットや水辺など、通りの風情やたたずまいを楽しみながら歩けること。
- 安全で、ゆったりと歩けること。（歩車分離道路または歩車共存でも交通量が少ない道路、北陸本線の横断では南北自由通路や横断地下道を利用）

## (2) ルートが目指すイメージ

歩くこと自体を楽しみながら回遊できるように、エリア全体を通して次のようなルートづくりを目指す。

- 人に優しく、歩くための通りであると感じられること。
- 通り自体が、歴史文化資産のある場所や観光拠点などへ自然と足が向くような雰囲気を持つ空間であること。
- いろいろなルートを回遊することで、高岡の持つ時代ごとの様々な歴史や伝統・文化を味わうことができること。

### (3) メインルートとサブルート

設定したルートのうち、交通、観光、交流の主要拠点をつなぎ、各ゾーンの軸となるルートをメインルートと位置づけ、先行的・モデル的に整備を図る。

メインルート以外のサブルートは、サインなどによる案内性の向上に努めるとともに、回遊性を高めるため、中・長期的にその特色を活かした整備を図っていく。

### (4) ゾーンごとの設定と特色

#### ① 幹線新駅・瑞龍寺ゾーン（国宝ゾーン）

国宝瑞龍寺や国史跡前田墓所など前田家の歴史的遺産と、高岡開町以来の旧街道や社寺があり、また、桜並木や緑地帯などのある水量豊かな用水が流れているゾーンである。

ここでは、瑞龍寺と交通拠点の新幹線新駅及び現高岡駅を結ぶルートをメインルートとし、サブルートとして、瑞龍寺や八丁道から山町筋や古城公園へ至る、市民も高岡の歴史を学習しながら楽しめる散策ルートを設定する。

#### ② 中心商業地ゾーン（たかまちゾーン）

中心商業地の賑わいやイベントを楽しむとともに、高岡大仏、古城公園、山町筋など高岡を代表する観光スポットへ至るゾーンである。

ウイング・ウイング高岡、御旅屋セリオの交流拠点や高岡大仏をつなぐ末広通り、御旅屋通り、坂下町通りをメインルートとして、商店街によるソフト事業や祭り・イベントなども活用しながら、市民や観光客にとって魅力ある商業空間とすることで中心市街地への求心力を高め、ゾーン全体の賑わいを創出する。

一方、民間団体では、高岡関野神社、高岡大仏、射水神社の3つの縁をつなぐ願いのかなうストリートとして「願道」を設定している。

#### ③ 山町・金屋町ゾーン（歴史的町並みゾーン）

高岡の町衆文化と職人文化が織りなす歴史的な町並みや建造物を巡るとともに、それらの文化に根ざした伝統的な祭礼・行事を楽しむゾーンである。

新たな観光拠点となる御車山会館を核として、山町から新幸橋を経て金屋緑地や鋳物資料館をつなぐ通りをメインルートとする。また、2つの歴史的町並みの回遊性を高めるため、周辺地域の歴史にも光を当てるなど、ゾーン全体でまちの風情や情緒を感じながら散策できる複数ルートを設定する。

## (4) ルートの特徴

### ◇新幹線新駅・瑞龍寺ゾーン（国宝ゾーン）

#### ①－１【瑞龍寺道】桜並木の水辺と旧街道の散歩道（庄方用水と旧井波道）

- ・ルート南側区間は、高岡開町時に通された庄方用水が流れ、用水沿いには桜並木や農家の建築様式を残す伝統的な母屋や蔵が立ち並ぶ。
- ・ルート北側区間は、旧街道（井波道）の家並みが連なり、現在でもクランク状に曲がったいわゆる「枅形道」が残る。

【距離及び所要時間】約900m、約15分



桜並木の庄方用水

#### ①－２ 駅南のプロムナード（瑞龍寺・八丁道への大通り）

- ・都市計画道路下関京田線は、JR 高岡駅の南北自由通路（万葉ロード）から真直ぐ南に伸びる駅南のシンボリックな道路で、無電柱化されカラー舗装の広い歩道がある。

【距離及び所要時間】約500m、約10分



下関京田線

#### ①－３ 古い社寺と水辺を巡る散歩道（旧井波道と庄方用水）

- ・瑞龍寺門前から北へ向かう旧井波道沿いに、高岡開町時創建の総持寺や、大木白山社、関野神社などの社寺や庄方用水を巡り旧北陸道の山町筋へ至る。

【距離及び所要時間】約1,700m、約30分



総持寺前の通り

#### ①－４ 前田家の歴史的遺産をつなぐ水辺と旧街道の散歩道(四ヶ用水と旧北陸道)

- ・庄方用水より分岐した四ヶ用水から旧北陸道を経て古城公園に至る。
- ・旧北陸道には「枅形道」の名残や、市指定文化財大手町神明社拝殿、定塚不動尊（大岩山日石寺分院）がある。

【距離及び所要時間】約1,400m、約20分



旧北陸道と定塚不動尊

### ◇中心商業地ゾーン（たかまちゾーン）

#### ②－１ 末広町通り（駅前のメインストリート）

- ・駅前には図書館や生涯学習センターなどが入居する市民の交流拠点ウイング・ウイング高岡がある。
- ・ウイング・ウイング高岡では、広場に設置するミストポール（噴霧装置）により親水空間を創出し、魅力の増大を図る。



ウイング・ウイング高岡

【距離及び所要時間】約320m、約5分

②－２ 御旅屋通り（アーケードのあるイベント通り）

- ・百貨店が入居する賑わい拠点「御旅屋セリオ」が立地し、通りや広場には数多くの彫刻が設置されている。
- ・全蓋型アーケードにより道路空間で各種イベントが行われており、メルヘン広場、「D.front」、「わろんが」など特長ある広場やスポット店がある。

【距離及び所要時間】約３５０m、約５分



アーケードの御旅屋通り

②－３ 坂下町通り（大仏を見上げる坂道）

- ・日本三大大仏のお膝元の通り（やわやわ参道）
- ・賑わいある「たかおか朝市」が開催されており、シルバーサロン「坂下小路」が市民に定着している。

【距離及び所要時間】約４００m、約７分



坂下町通りと大仏

②－４ 桜馬場通り（歴史的地名を持つ桜並木の通り）

- ・高岡開町当時、武士が武芸の鍛錬をする馬場があり、明治期以降は桜並木の公園があったことから、この通り名で親しまれている。
- ・現在は、道路拡幅に伴い新たに植樹された桜の並木道となっている。

【距離及び所要時間】約６５０m、約１０分



桜並木の桜馬場通り

②－５ 大仏前通り（大仏と古城公園をつなぐ旧北陸道）

- ・坂下町通りから古城公園に向かう旧北陸道で、土蔵造りの建物があるなど大仏を境に商店街とは異なる落ち着いた雰囲気の通りとなっている。

【距離及び所要時間】約２３０m、約３分



旧北陸道の大仏前通り

②－６ 末広坂通り（彫刻のある坂道）

- ・駅前から末広町通りを経て山町筋・金屋町方面へ至る通りで、途中の銀行敷地にあるポケットパークには、童謡「夕日」のイメージを表現した彫刻があり、季節により衣装をまとうことで親しまれている。

【距離及び所要時間】約３３０m、約５分



彫刻のある末広坂通り

②－ 7 高の宮通り（高岡関野神社由来の通り）

- ・ 関野神社が「高の宮」の名称で親しまれていることから、この通り名が付いている。
- ・ 現在は、関野神社、高岡大仏、古城公園の3つの名所で縁を結び、願いが叶うストリート「願道」の一部として民間団体が位置づけている。

【距離及び所要時間】約200m、約3分



高岡御車山祭りの関野神社

◇山町・金屋町ゾーン（歴史的町並みゾーン）

③－ 1 歴史的町並みをつなぐ小路【新幸橋ルート】

- ・ 山町筋と金屋町通りのほぼ中央部を結ぶ近道で、山町側には御車山会館が建設される。
- ・ 千保川にかかる新幸橋付近にはかつて船着き場があり、灯台として建設された恵比寿塔が今も残されている。
- ・ 家具や仏壇、神棚を製造する職人も多く集まっていた町で、「檜物屋町」という自治会名にその名残がある。

【距離及び所要時間】約500m、約10分



檜物屋町の通り

③－ 2 歴史的町並みをつなぐ旧街道【横田橋ルート】

- ・ 山町筋と金屋町の西側を結ぶルートで、旧北陸道沿いに旅籠町、中島町など城下町当時のまちの成り立ちを表わす町名が残る。
- ・ 途中には高岡開町の頃に創建され、大いちょうの木で知られる川邑良神社がある。

【距離及び所要時間】約550m、約12分



川邑良神社前の通り

③－ 3 歴史的町並みをつなぐ小路【内免橋ルート】

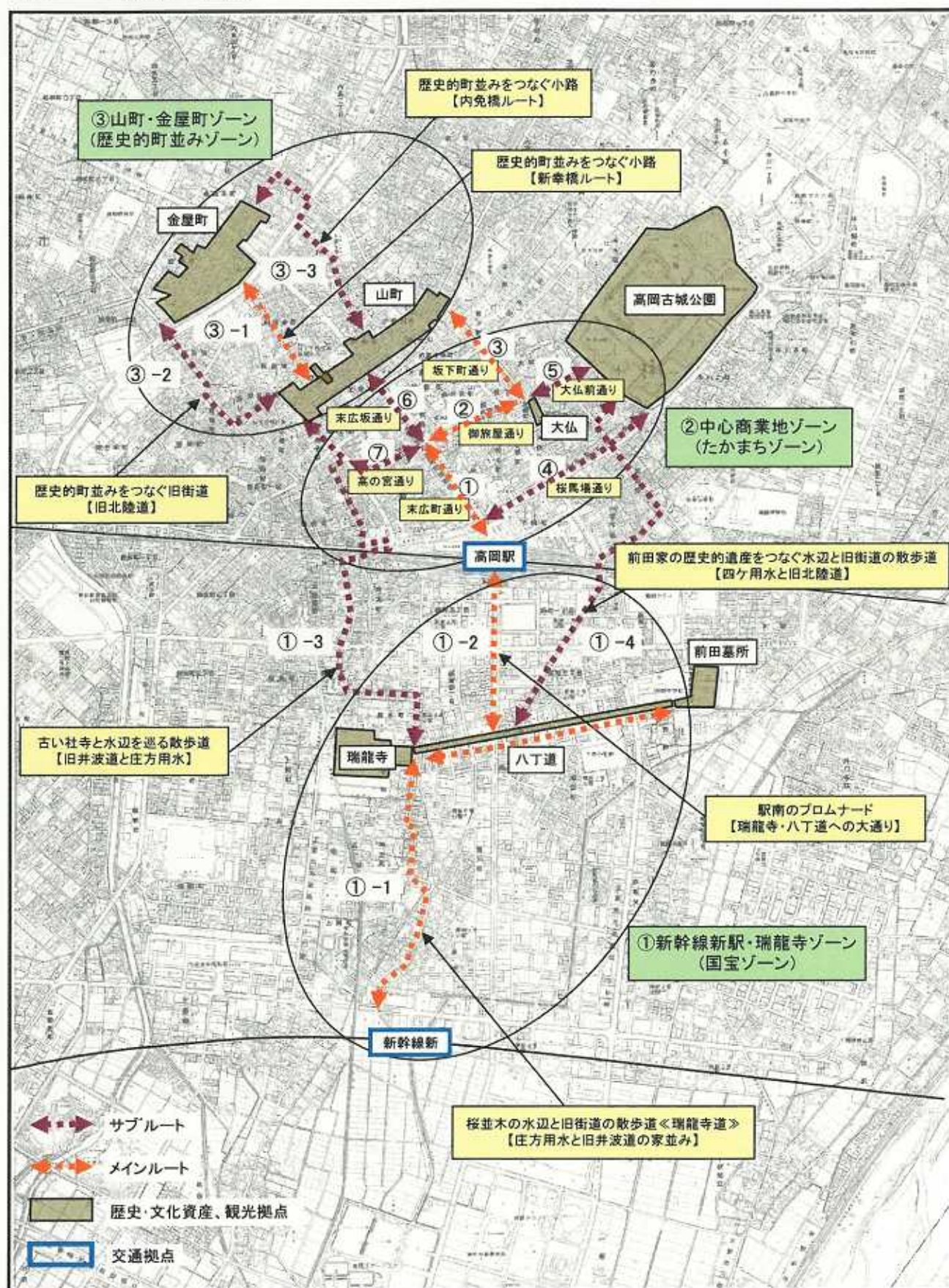
- ・ 石堀の寺院がある一方通行の閑静な通りで、途中に登録有形文化財若井家住宅や紡績会社の煉瓦造り倉庫などがある。
- ・ 山町側には重文菅野家や「高岡郵便発祥の地」の石碑があり、金屋町側には、登録有形文化財の旧南部鑄造所キュボラ・煙突がランドマークとなっている。

【距離及び所要時間】約850m、約15分



若井家住宅

# 各ゾーンのルート図



## 5 計画への取り組み方針

「歩いて楽しいまちづくり」を進めるには、安全で快適な歩行空間とともに、観光客を受け入れもてなす環境が大切である。そのためには、行政のみならず、市民、事業者やまちづくり団体等がそれぞれの役割分担のもとに協働で取り組みを進める。

### (1) 行政の取り組み

#### ① 安心して歩ける空間

歩行者が安心して歩くためには、歩行者に優しい交通環境を整えるとともに、わかりやすい案内システムを整備する。

また、バスや自家用車で訪れる観光客にとって、歩いて巡るための起点となる駐車場の整備を図る。

#### ○歩行者優先の空間整備

- ・歩車分離（物理的分離、視覚的分離）

#### ○案内性の向上

- ・案内・誘導サインの設置
- ・視覚的、イメージ的誘導
- ・ルートマップの作成

#### ○駐車場の確保

- ・観光駐車場（バス、自家用車）



視覚的誘導イメージ



誘導サインイメージ

#### ② 移動手段の活用方法と情報提供

ゾーンをまたぐ移動や、ゾーン内を効率よく巡るには、回遊ルートとリンクしたコミュニティバスの運行やレンタサイクルの貸出しなど、利用しやすい仕組みづくりを検討する。



コミュニティバス



万葉線

## (2) 行政・市民協働の取り組み

### ① 快適に歩ける空間

歩く人が心地よく感じる良質な歩行空間づくりのため、住民が豊かで快適と感じられる公共空間や生活環境の整備と、それに向けた行政と住民が研究や協議を行う場や組織づくりを図る。

また、長い距離を歩くには休憩場所やトイレが必要であり、店舗など民間施設の協力も得ながら、休憩場所やトイレの整備とその情報提供に努める。

#### ○休憩施設やトイレ等の提供

- ・既存休憩施設の充実
- ・トイレが利用できる店舗や施設等の拡充及び情報提供（まちの駅など）
- ・商店街や店の軒先等でのベンチ設置



トイレ



ベンチ

#### ○住民にとっても利用しやすい公共空間の整備

- ・道路、公園、街路樹等の整備
- ・エントランス空間やビューポイントの整備
- ・交通規制（時間規制、歩行者天国等）



エントランス空間

#### ○通りのイメージを高め、日常生活も快適な環境づくり

- ・花や緑などによる季節感の演出
- ・商店街の飾りやオブジェによる賑わい演出
- ・建物や敷地等の修景



敷地の修景

#### ○おもてなしや交流

- ・住民による観光客への説明、案内



花や緑



オブジェ

### ② 楽しく歩ける空間

魅力あるポイントが連続すること、賑わいを感じられること、体験できること、新たな発見があるなど、歩く人を飽きさせない仕組みづくりを図る。

#### ○魅力ある商業環境の形成

- ・賑わいの感じられる商店街
- ・魅力ある店舗が数多くあること



賑わい商店街



魅力ある店舗

### ○魅力ある界隈の形成

- ・人が溜まる空間（広場を利用したイベントの開催など）



街かどイベント

### ○食事処、喫茶店、店舗

- ・オープンカフェスタイルの休憩所
- ・テイクアウト商品の販売
- ・空店舗や空家を活用した工房、体験施設



食事処

### ○まちの歴史や文化の紹介

- ・まちの歴史や事物の由来等に関する説明板の設置
- ・旧町名や通り名などを記した標柱の設置



道標

### ○情報発信の充実（イベント・祭り、店舗・買物情報）

- ・サインやマップによる情報提供
- ・ICT の活用

## （３）地域活動の推進

歴史文化資産は、「伝統文化の体験」や「学習活動・地域活動」を通じて活用されるものであり、活用されることで歴史文化資産も保全される。また、住民自らまちの歴史や由来を知ることによって観光客にも語ることができる。

そのためには、住民自身による活動や、まちづくり団体、観光ボランティアの参画を推進する。

### ① 学習活動の推進

#### ○知るきっかけの提供

住民が地域の歴史文化資産を知り、体験し学ぶ意欲を高めるきっかけづくりとして、まち歩きや見学会、歴史文化資産に関する講座、講演会等を開催する。

#### ○市民・住民の主体的な学習や研究活動の推進

市民や住民が自主的に歴史文化資産に関する学習や研究活動を進められるように、活動団体の交流や学習・研究成果の情報交換等ができるシステムをつくる。

#### ○学校教育との連携

児童生徒が地域の歴史文化について学ぶ学習を推進するため、学校と地域住民・団体と連携した活動を推進する。

**② 地域活動を推進する仕組みづくり**

**○人材や各種団体の育成・支援**

住民を中心とするさまざまな活動を活発かつ円滑に進められるよう、その活動や組織づくりを支援するとともに、活動の場の提供などを行う。

**○活動のネットワークづくり**

住民及び活動団体の連携を促進するため、歴史文化をテーマとするイベント、会議等を通して交流やネットワークづくりを図る。

**③ 他の地域との連携**

**○他の地域との交流と連携の推進**

地域の歴史文化資産に関する情報を、イベントなどを通じて他の地域や周辺市町村にも発信することにより連携を進め、広域的な展開を目指す。

## 6 ストリート整備事業

### (1) 計画策定及び整備事業

平成26年度北陸新幹線開業までに、メインルートの整備を推進するとともに、歴史まちづくり計画における事業とストリート構想との連携・調整を図りながら展開することにより相乗効果を高める。

#### 【平成24年度からの主な事業】

- 新幹線新駅と瑞龍寺をつなぐ「瑞龍寺道」整備事業（ルート図①－1）
- 庄方用水沿い桜並木整備事業[末広町・白金町地内]（ルート図①－3）
- 山町・金屋町回遊ルート整備計画策定（ルート図③－1）
- サイン計画策定



「瑞龍寺道」整備イメージ



庄方用水沿い桜並木整備イメージ

### (2) たかまちプロムナード事業

#### ①事業趣旨

中心商業地ゾーンのメインルートである末広町通り、御旅屋通り、坂下町通りにおいて、ストリートビジョンと商店街の顔づくりのための具体的方策（パイロット的事业）について研究を行い、中心商店街の賑わい創出と魅力の向上の道筋を定める。

#### ②ストリートビジョン

街の魅力・特長をフルに活かしながら、それぞれの通りの役割を、今後の各通りのイメージとして位置づけた「ストリートビジョン」を設定する。

#### ■たかまちプロムナードビジョン（たかまちゾーン全体イメージ）

#### **高岡らしさを感じながら歩いて楽しめる通り**

商店街の特長や「歴史」「ものづくり」など、地域資源等を活用した通りづくりに取り組む。